

②【当初予算議案】

予算決算委員会 社会文教分科会 座長報告

令和8年3月19日予算決算委員会後期全体会

- 議案第52号のうち社会文教分科会の分担部分と、議案第53号から議案第55号まで、議案第59号及び議案第60号の審査経過

- 議案第52号

「令和8年度飯田市一般会計予算(案)」のうち、社会文教分科会分担分の審査経過

- 3款 民生費、1項 社会福祉費、1目社会福祉総務費 の審査

- 避難行動要支援者支援事業（事務事業No.58）

【質疑】「活動指標の新規の個別避難計画作成件数の考え方について、該当者が1,100人ほどと思うが、年度内に800人分を作成するのか。」

【答弁】「国から令和8年度末までに、該当者すべての計画を作成するようにと通達があった。令和7年度の計画作成の実績が200人から300人となる見込みであることから新規作成件数を800人とした。

但し、実務者であるケアマネージャーや相談支援専門員が多忙なため、計画どおり進まないこと、要支援者を支援する人「避難支援等実施者」がなかなか見つからないこと、作成のため必要となる本人の同意が得られないこと など作成に向けた課題もあるが、可能な限り達成できるように目標数値として800人とした。」

- ともに未来を支え合うパートナーづくり事業（事務事業No.61）

【質疑】「市としてマッチングアプリのようなシステムを導入して支援していく予定はあるか。」

【答弁】「行政が結婚の問題にどこまで関わるかは考える必要がある。現在はシステム導入の予定はなく、結婚を希望する方への相談対応や地

域活動の支援を継続していく。」

○ 4目 老人福祉費 特別養護老人ホーム等建設補助事業（事務事業No.71）

【質疑】「第9期介護保険事業計画策定時における市の施設整備の考え方はどのようなものだったか。」

【答弁】「将来的に見込まれる要介護認定者の増加、又は家族構成の変容などを踏まえて、急激な介護老人福祉施設待機者の増加に対応できるよう事業者の意向を踏まえつつ、必要最低限の施設整備を進めるものと考えた。」

【質疑】「そのことを踏まえて施設整備の予定や現状はどうなっているか。」

【答弁】「特別養護老人ホーム施設については、今後見込まれる要介護認定者数と介護老人福祉施設の需要の増加を見据えて、既存の施設定員数などから総合的に判断している。現在民間の社会福祉法人が令和9年3月を目途に介護老人福祉施設40床の整備を進めている。この事業は、この施設が対象となっている。」

【質疑】「第10期介護事業計画を見据えたときに、施設のサービスの在り方や課題をどのように捉えているか。」

【答弁】「課題として、安定した施設サービスの提供を行うための介護人材確保の重要性を認識している。施設サービスの在り方については、人材確保の課題を踏まえつつ、現状の要介護認定者数の推移及び特養の待機者数の推移、また近隣自治体の特養の状況等を総合的に考慮して、適切な施設サービスの提供について検討を進めたい。」

○ 在宅生活支援事業（事務事業No.78）

【質疑】「高齢者補聴器購入助成事業補助対象者数が令和7年度の計画より少ない理由はどのようなものか。」

【答弁】「この補助事業は令和7年度に創設した。先進地事例を参考に指標

を 150 件としたが今年度の見込みから 50 件とした。今年度の申請件数は令和 8 年 3 月 1 日現在で 21 件である」

○ 14 目 物価高騰対策事業 物価高騰対策生活支援事業（事務事業No.89）

【質疑】「非課税世帯や生活保護世帯にエアコンの設置を促進するということだが、指標の計画世帯に市が設置するのか、それとも申請を受けて補助をするのか。」

【答弁】「各生活保護世帯には担当するケースワーカーが個別に対応していく。生活保護世帯以外の住民税非課税世帯については、市の広報やホームページで周知し、申請のあった世帯に支援する予定である。」

○ 3 款 2 項 児童福祉費、5 目 民間保育所費 民間保育所等特別保育事業（事務事業No.98）

【質疑】「民間保育所が夏季休暇等に園舎の空きスペースを利用して行う『小学生の預かり事業』に対しての補助ということだが、これまでの実績は。」

【答弁】「今年度は、上郷なかよし保育園、ルーテル幼稚園、ビバ・チャイルド の 3 園が実施した。また参考として、千代保育園では年間を通して低学年の受け入れを行っている。」

○ 8 目 地域子育て支援費 思いきり遊ぶ親子交流施設整備事業（事務事業No.106）

【質疑】「検討のための市民会議の委員は 30 名程度で、市民公募もあるということだが、どのように募集するのか。」

【答弁】「委員として想定するのは、地元の大学や研究機関の方、教育保育に関係する方、文化会館の整備検討委員会の関係者、関心のある市民の方 で 30 名程度と考えている。公募の市民委員が何人ということは申し上げられないが、予算が可決されたら、早急に調整し、新年度に応募していただけるように段取りをしたい。」

○ 4款 衛生費、1項 保健衛生総務費 地域医療支援事業（事務事業No.115）

【質疑】「この事業の中の救急告示医療機関支援事業は、昨年民間病院から提出された要望書に基づいて検討した結果の支援という理解でよいのか。」

【答弁】「要望を受けたことがきっかけとなり、調査し検討を重ねた結果、支援が必要と判断した。」

○ 同じ事業内 診療所承継開業支援事業 について

【質疑】「この事業の補助金の補助率をどう考えているか。」

【答弁】「この事業は、長野県の支援もあり、県の支援を受けたあと残金の半分を市で、残りを本人負担という組み立てを考えている。」

○ 2目 母子保健事業費 出産子育て応援事業（事務事業No.84）

【質疑】「産後ケアの通所型にも補助金が計上されたが、どのような内容か。」

【答弁】「産後ケアの通所型に対する補助は、利用料の8割程度を補助し、上限は12,000円の予定である。」

○ 予防接種事業（事務事業No.120）に関し、

【質疑】「RS ウイルスワクチンの妊婦への定期接種について、安全性への懸念を訴える団体の意見もあるが、市の考えは。」

【答弁】「RS ウイルス感染症は、令和8年4月1日から、予防接種法でA類疾病に位置付けられる予定で、予防接種も定期接種化が決定したため、制度に従って実施する。」

- 10 款 教育費、2 項 小学校費 2 目 小学校教育振興費 及び  
3 項 中学校費、2 目 中学校教育振興費 の学校教育振興事業（事務  
事業No.236）

【質疑】「水泳授業の外部委託に関し、700 万円ほど増額されている。水泳授業の委託について今後の方向性と現在の実施状況はどうなっているか。」

【答弁】「令和7年度は18校で民間委託していたが、施設の老朽化等を踏まえ、令和8年度は小学校1校、中学校2校を追加し21校とした。委託する学校が増えたことで予算も増加した。」

- 続いて、2 項 小学校費 3 項 中学校費 の 小学校施設改修事業（事業No.242） 中学校施設改修事業（246）

【質疑】「環境改善のための改修として防犯カメラを設置するという説明だったが、全校に設置するのか。またどのような仕様となるのか。」

【答弁】「全校に設置したいと考えており、設置場所は各学校と相談する。仕様としては、常時職員がモニターを確認する体制ではないため、一定時間を録画できる機種で、何かあったときにその録画映像を確認できるものを考えている。」

- 10 款、5 項 社会教育費、3 目 社会教育総務費の 埋蔵文化財調査事業（事務事業No.250）

【質疑】「会計年度任用職員が増えるため、会計年度任用職員の人件費が増えるとのことだったが、活動指標では7年度の計画と変わりがないが、増額の理由は何か。」

【答弁】「埋蔵文化財の発掘調査は、遺跡を記録保存することが目的であり、来年度は記録本を作成する作業が主になるため、それに従事する会計年度任用職員の数が増えている。」

- 5 目 図書館費 の こども読書活動推進事業（事務事業No.260）

【質疑】「親子での図書館利用を推進する「こどもタイム」の取組を行うとあるがPRをどのように考えているか。」

【答弁】「こどもタイムは初めての取組であり、美術博物館と連携をして行う。ポスターやチラシの配布や、繰り返しきてもらうためのスタンプカードの配布を考えている。」

【質疑】「昨年当委員会は管外視察で騒いでもいいという図書館を視察した。こどもたちからは騒げる図書館は『気軽に来られる』という意見があったことを聞いた。騒ぐにも程度があるが、こどもたちに身近な図書館となるような取組をどのように考えるか。」

【答弁】「騒いでいいとは言えないが、赤ちゃんが泣いても、こどもが普通の声で話をして、みんなで温かく見守っていきましょう ということを利用者の方にも伝えながら、PRしていきたい。」

○ 7目 文化会館費 の 文化会館等管理運営事業（事務事業No.270）

【質疑】「予算には施設改修工事3億4千万円余という事業費が計上されている。どのようなスケジュールで進めていくのか。」

【答弁】「予算案であり、長期的なことはまだ確定しない段階で、希望としては、文化会館を止めずに改修をしていきたいと考えている。大きなイベントは実施し、空いた時期に改修することを考えると、1年ではできないため、3ヶ年計画で進めていきたいと考える。但し、どこまで具体的に改修できるかという全体像の見込みはできていないことから、電気や給排水など必要に迫られている部分から行いたいと考える。整備検討委員の皆さんにも、文化会館の改修に対する意見を聞き、中長期的なことを組み立てていきたい。」

○ 「議案第55号 令和8年度飯田市介護保険特別会計予算（案）」の審査

【質疑】「介護給付事業において、活動指標で100%執行を目標としているが、令和6年度の実績96.9%との乖離がある。今後の見込みは。」

【答弁】「現在の実績から今後の実績見込みは98%程度と予測している。令和8年度は、期中に行われる介護保険報酬改定の影響を考慮すると、計画値である100%に近い執行になると想定している。」

○ 「議案第60号 令和8年度飯田市病院事業会計予算（案）」の審査

【質疑】「4月1日付での組織見直しにおいて「経営戦略室」が新設されるが、組織を横断した経営改善の考え方は。また、各部門との意識共有への取組は。」

【答弁】「これまでも横断的取組は行ってきたが、経営戦略室を設けることで指揮命令系統を明確にする。現在も経営企画部長が主管して、薬剤・診療・看護等の各部門の長が集まる経営企画会議で課題を抽出し、対策を取っている。今後もそこが機能する取組みを進めていく。」

【質疑】「高額な予算を伴う電子カルテシステムの更新は、具体的にどのようなメリットがあるのか。」

【答弁】「電子カルテは病院の基幹システムである。主な機能は、医師の指示伝達、情報共有、会計、レセプト業務である。システムがない場合は、これらすべてを紙媒体で行うことになる。現在使用中のシステムは15年が経過し、2028年にメーカーの保守も終了するため、システムの更新をしたいとするものである。」

【質疑】「人件費について、給与費率が全体の62.5%と高く、急性期病院の目安を上回っていると説明があった。その原因と今後の削減目標をどう考えるか。」

【答弁】「急性期病院は業務にあたる職種が多職種のため人員も必要となる。また、予測外の業務により超過勤務等が要因となっている。一般的に目標とする急性期病院の約60%を上回っている現状を大きな課題と捉えており、令和8年度は時間外勤務の縮減等にしっかり取り組みたい。」

○なお、

議案第 53 号 令和 8 年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）

議案第 54 号 令和 8 年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）

議案第 59 号 令和 8 年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）

の以上 3 件の議案に関しては、特に申し上げることなし。